



Maid Little Roy

メイドリトルロイ

落ちこぼれ姫女の正体は精液(精子)を糧とする最強の悪魔でした。

2上

82p
R18



Shopping and Mischief The restaurant devil

White Little Rose

メテリトルロイ



Merileroi

メテリトルロイ


STANDING OUT WITH THE SECRETARY DATE



この物語は


あらゆる魔法を
自在に使いこなし
人々を救う
存在である“魔女”

そんな立派な
魔女になることを
夢見る少女のお話




——誰もが
当たり前前に
魔法を使う世界

けれど私は
生まれた時から
魔法が使えない



「至高の魔女ルナ」と
呼ばれたお母さんとは
違っておちこぼれの私

家族であるグレン
兄ちゃんや魔獣族の
アバルに助けられる
日々を過ごしていた



けれど
ある日お母さんの
知り合いという
魔女の女の人に
出会う

「本当の力」を
取り戻せるという
実を与えられそれを
口にした瞬間――


身体から
制御できない程の
魔力が溢れて暴走した




身体を蝕む
強すぎる力を中和する為
グレン兄ちゃん、アバルと
身体を重ねる事に――




私は
伝説上の存在と
されている
悪魔の娘だった




長旅
お疲れさまで
ございました



レティシア様より
お話はお伺い
しております




「魔女の城」へ
ようこそ
リエールカ様



此処はかつて
数多くの上級魔女を
輩出した地

魔導図書室等の
設備を全てご提供する
ようにと仰せつかつて
おります



今城内に
おりますのは皆様の
お世話をさせて頂く
私共従者と城主の



ザガン様！



お、お初にお目にかかります王子

リエールカと
います

おは



今日からお世話になります

ご迷惑おかけしない様に
気を付け

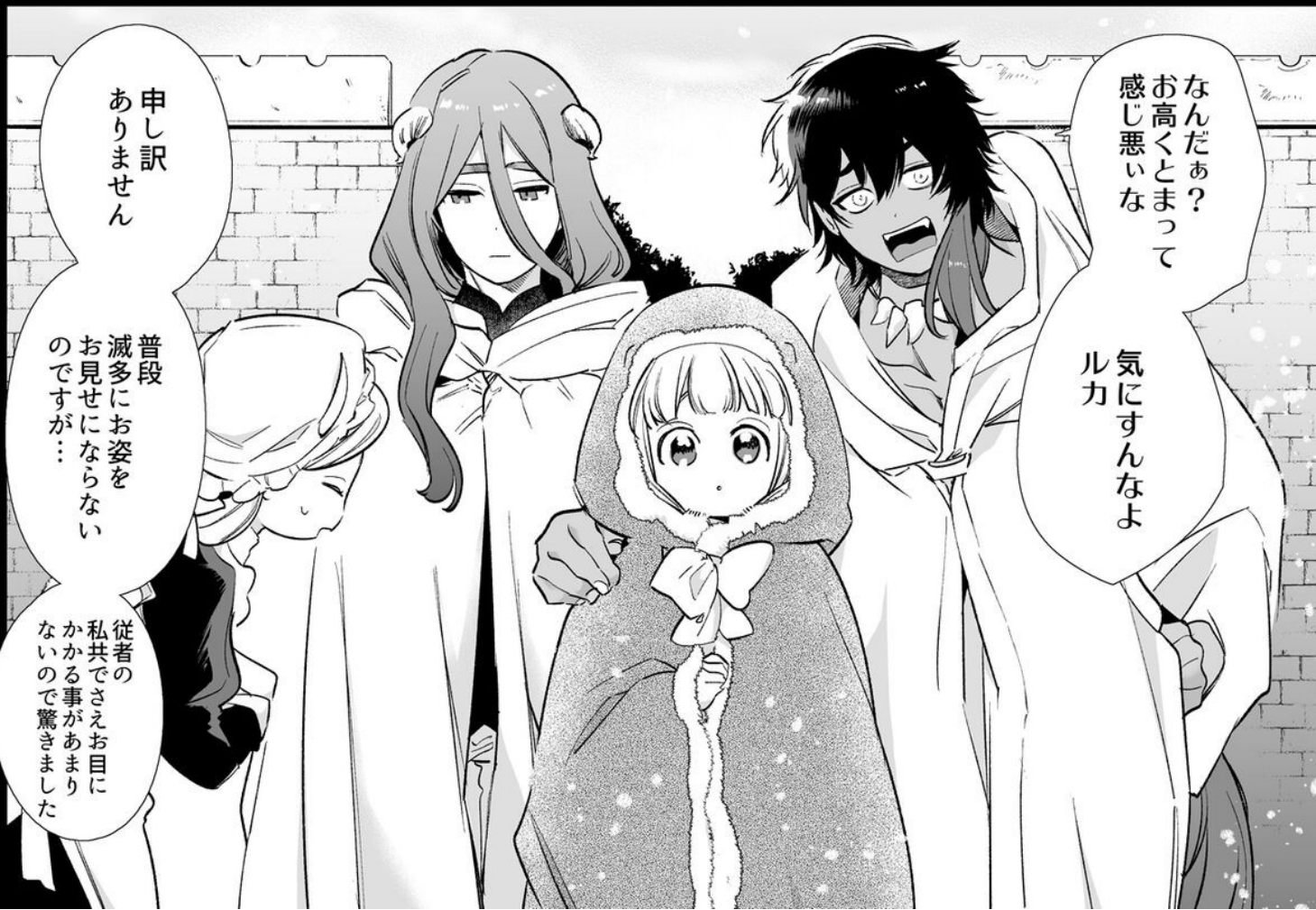
ガガン



城主の
ザガン様
です…

あ、
ええと
その…

えっ？



なんだあ？
お高くとまって
感じ悪いな

気にすんなよ
ルカ

申し訳
ありません

普段
滅多にお姿を
お見せにならない
のですが…

従者の
私共でさえお目に
かかる事があまり
ないので驚きました



でも
ご挨拶できて
よかったです…



いつか夢見た
新しい環境
新しい力

夢は
徐々に実現
しているけれど



その一方で
変わって行って
しまう事もあった



リエールカ

魔法が当たり前の世界で魔法が使えない少女。しかしその正体は伝説上の存在とされている悪魔の娘。食事は食べ物ではなく精液(魔力)しか身体が受け付けなくなり、性交が食事代わりとなってしまう。愛称はルカ。



グレン

ルカの唯一の家族であり兄。家事全般をごなし母のいなくなったルカを一人育て上げてきた。ルカとは本当の兄妹ではなくルカの母の禁忌の術によって創り出された魔王の複製品(レプリカ)。ルカが存在だけが生きる理由。



アバル

魔獣族の青年。森で瀕死の傷を負って倒れていたところをルカに救われる。もとの狼の姿を捨て人型の姿を手に入れルカと夫婦になる為求婚し続けている。悪魔と発覚したルカと自ら望んで隷属の儀を行い、使い魔となる。



ザガン

魔王の息子である第一王子。しかし魔力が低く「落ちこぼれ」の烙印を押され城を追放された。幼少期から周囲に蔑まれて生きてきた為他人を信用しないが、身分分け隔てなく接してくるルカに徐々に心を開く。ルカ、グレン、アバルの新しい居住地の城主。



光の魔法
使わな

レティシア

“黒魔女レティシア”と呼ばれる上級魔女。元はルカの母ルナと共に魔王に仕えていたが現在は何処にも属していない。ルカが悪魔の娘であることを知っておりルナの施した封印を破りルカの力を解放した。

ルナとは幼なじみであり元恋人。娘のルカに執着する。



ルナ

しこう
“至高の魔女ルナ”と謳われた上級魔女。魔王の第一補佐として城の上級魔術師達を従えていた。禁忌の術でグレンを創り出した後魔王の元を離れ国民を救う魔女として慕われたがある日忽然と消息を絶った。

伝説上の存在とされる悪魔との間にルカを授かる。



悪魔

物語や芝居などで登場する架空の存在。国一つ容易く滅ぼすほど強い魔力を持っており魔力の高い魔術師や魔女を好んで食べるなど様々な伝説が語り継がれている。

しかし、実際には伝説などではなく実在する。上級魔術師や魔女には視認出来る。

ルカの父は悪魔界で最高位の上級悪魔。その影響もあり混血ではあるがルカはほぼ悪魔寄りの種族に分類される。



数日前





一緒に
眠るのは
普段通りだけど

ふ、
ふたりとも
裸…？



…そうだ
昨晚…

アバルが
帰った後

いつも通り
眠って…



またあの
苦しさが
襲ってきたんだ

…ルカ！


苦しいのか？

はっ


はあ

はあっ



また
発作が…



魔力を注いで
悪魔の力を中和
出来たはずだった



なのに
今度は



精液を
注ぎ続けないと
生きられない
身体だなんて――



ムッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ
アッ
アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

もう少し我慢して

アッ

アッ

アッ

駄目だ
アッ
アッ

ちやんと
ほぐさないと
怪我をする

アッ



やあつ...!

ぬふ

ぬふ

ぬふ

ぬふ

ぬふ

ぬふ

ぬふ

ぬふ

ぬふ

ぬふ

ぬふ

ぬふ

ぐれ...
おねがい...

グレン
にいちゃん...

ね...

欲しいよ

ね?

は...
もち...

ね

ね

ね



ふっ

ん

ふっ

ん

ふっ

ん

ふっ

ん

ふっ

ん

ふっ

ルカ

それとも...
悪魔の?

ルカ自身の
意志なのか?

これは...

ふっ

ん

ん

ふっ

ん

ふっ

ん

ふっ

もし
そうなの
だとしたら...

憐れな
お前を

どうやって
救える...??





はは

は

ナカに

ゼッ

ハハ

あし

ハハハハ

ハハハハ

はは

いれて...



…今
俺に出来るのは



ハハ

これだけ
なのか

ハハ

ハハ

ん

ん

ハハ

ハハ

ハハ

おかえり
なさい

グレン
にいちゃん

だっしゅっ

どんな事をしてでも

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ





アッ

あぁ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



…何よりも
大切な

たった
一人の妹

家族だ



…ルカ

でも俺は

本当は——

…そうだ

グレン兄ちゃん

私が
気を失うまで
ずっと魔力を
注いでくれた…

ルカの発作が
落ち着いて
気を失った後—

その途端
ルカの身体から
強い魔力がいきなり
爆発して—

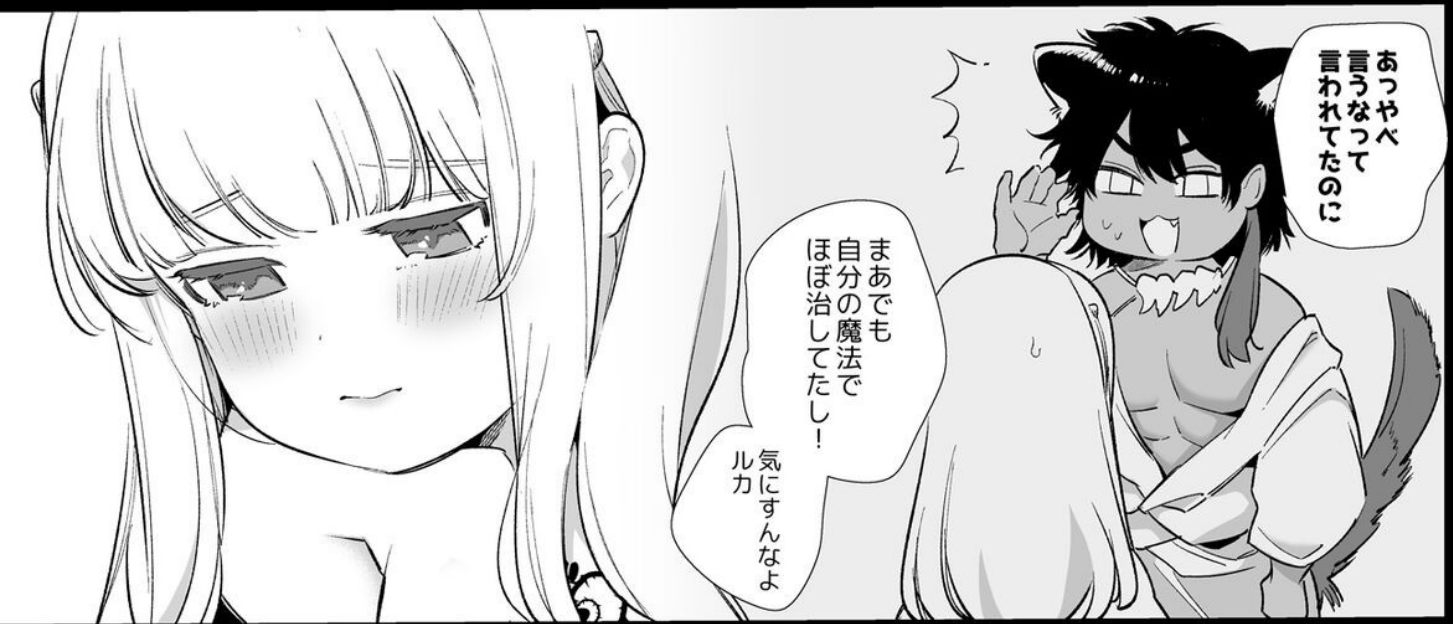
悪魔の力を
もう一度封印
するって言ってな

グレンが
ルカの母親と
同じ魔法をかけようと
したんだ



ルカの悪魔の力が
強すぎてグレンの
魔法が全く
効かなかった

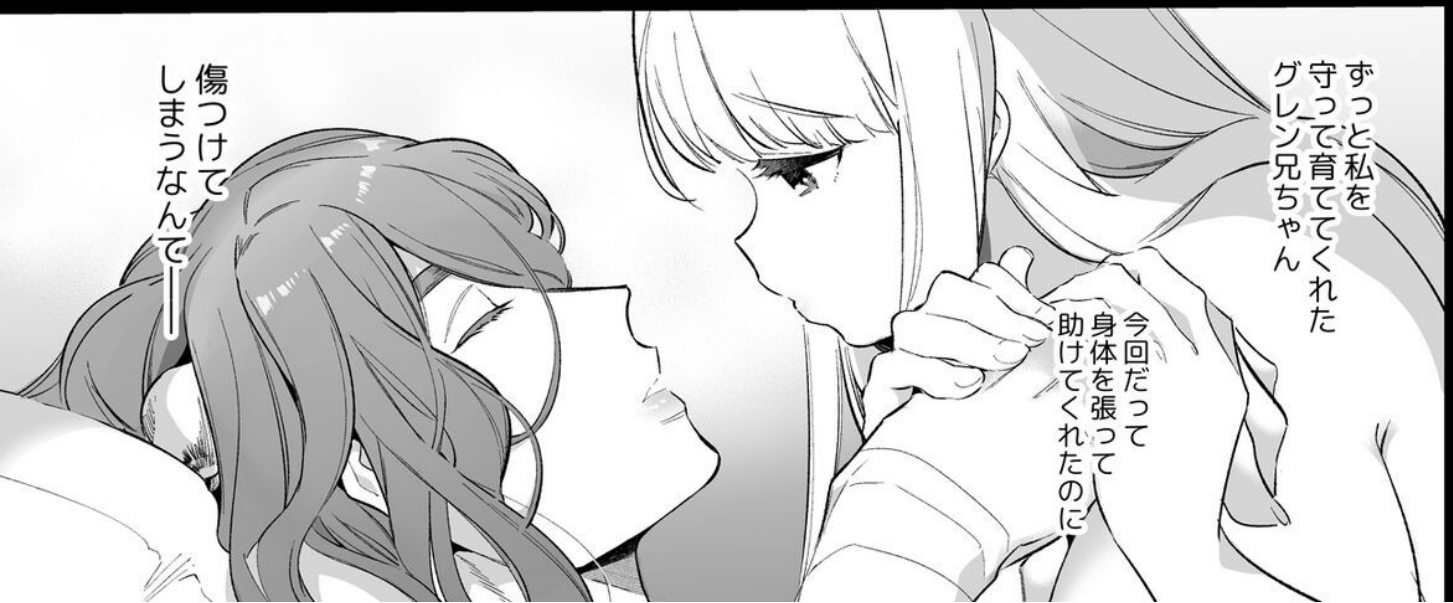
逆に
返り討ちにあつて
両腕焼け爛れ
ちまつて――！



あつやへ
言うなつて
言われてたのに

まあでも
自分の魔法で
ほぼ治してたし！

気にすんなよ
ルカ



ずっと私を
守つて育ててくれた
グレン兄ちゃん

今回だつて
身体を張つて
助けてくれたのに

傷つけて
しまうなんて――



どうすれば
いいんだろう…？



もう
傷つけるような
ことはしたくない

グレン兄ちゃんに
これ以上迷惑を
かけたくない

でも



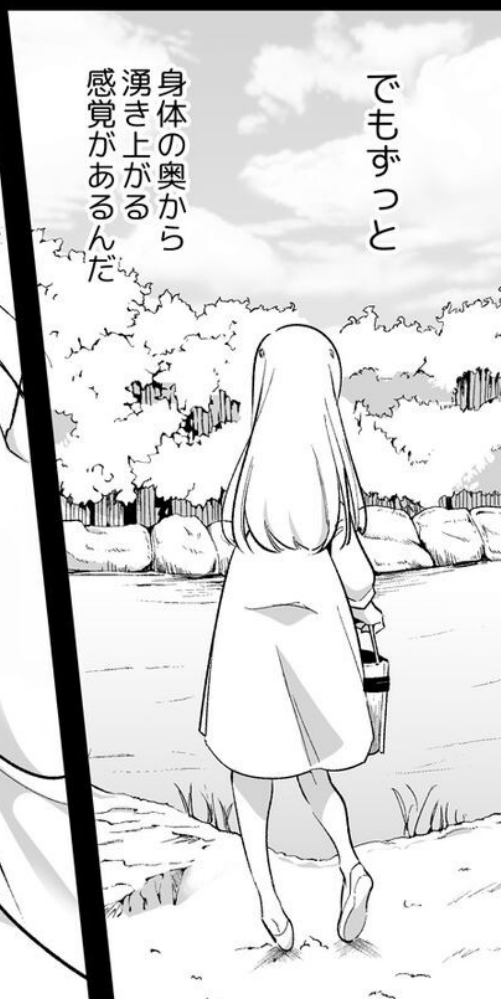
私が悪魔の
血を引いてると
わかってても

グレン兄ちゃんも
アバルも変わら
ず
今まで通り
接してくれる

なんら変わりの日常
今まで通りの日常



もう今までの
私じゃない



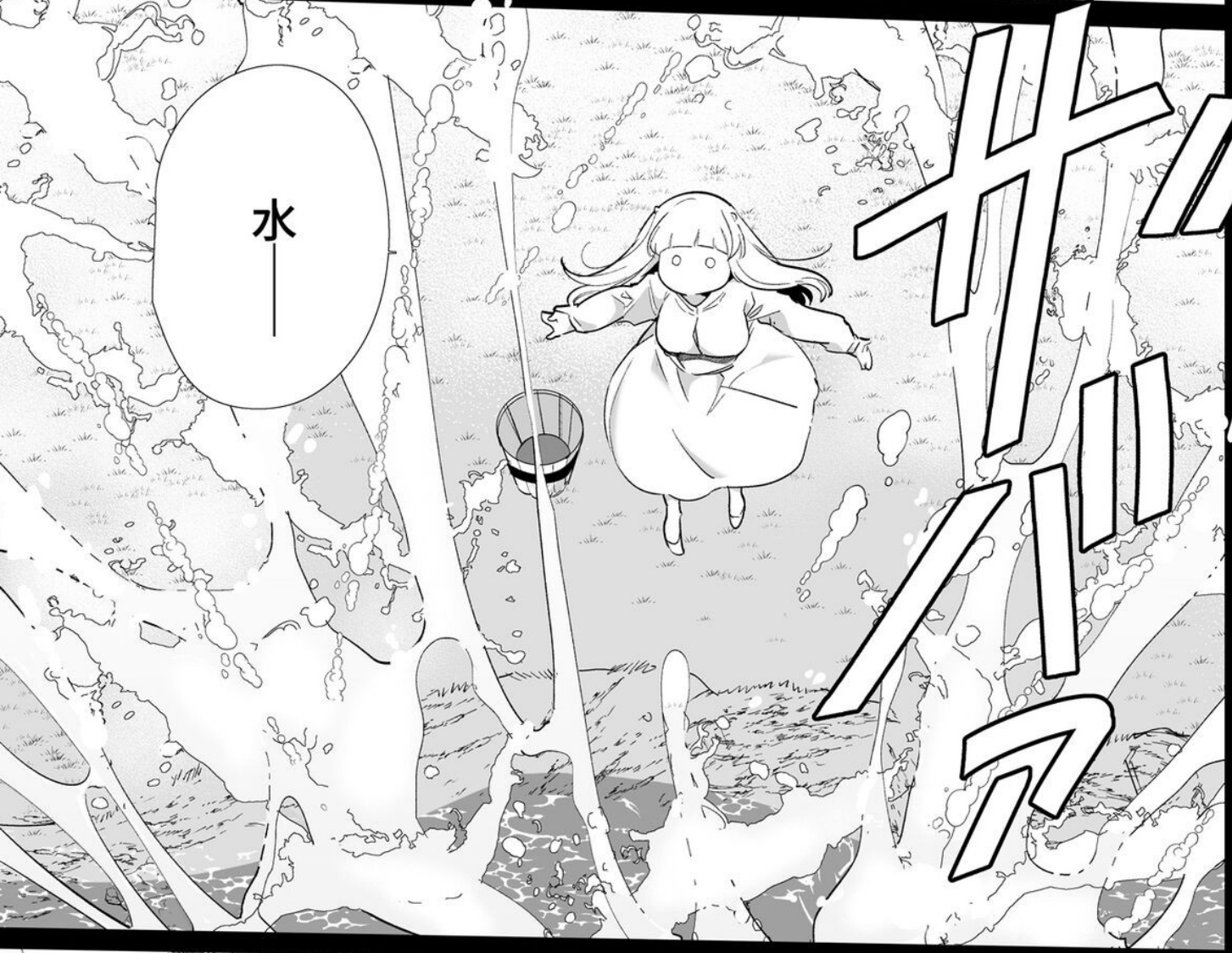
でもずっと

身体の奥から
湧き上がる
感覚があるんだ

ア...



水



ア
ア
ア
ア
ア



エ...?

私

魔法が
使え—

ズ
ズ
ズ

な、
なに？

私の力の
はずなのに

足に
巻きついて
離れない
言うこと
きかない？

息が出来なくなる

このままじゃー

お母さん...

ガッ
ッ
ッ





どうしたんだよ
ルカ

顔洗うだけじゃ
目エ覚めな
かったか？

アバルっ…



ほら
しっかり
つかまってる

随分
派手な魔法
使ってたしな

ギィ



じめ…

ケホッ

おいおい
無理すんな

十時

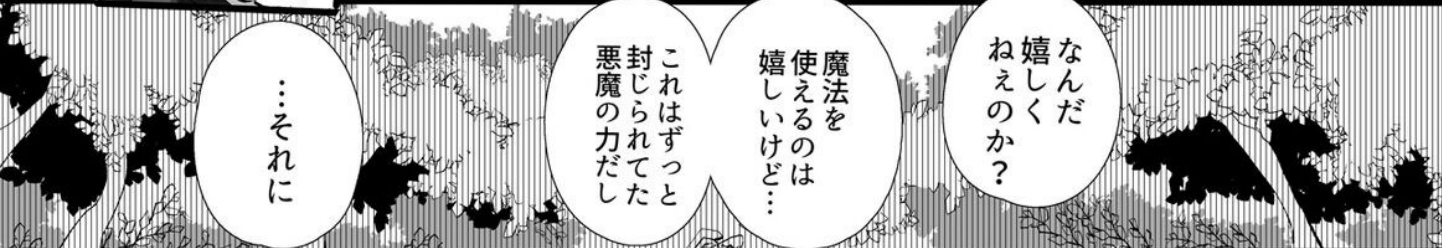
十時



遠くからでも
見えてたぜ
ルカ

えらい
大層な力
手に入れちまって

ずっと
頑張ってきた
よかった
じゃねえか



なんだ
嬉しく
ねえのか？

魔法を
使えるのは
嬉しいけど…

これはずっと
封じられてた
悪魔の力だし

…それに




魔法を
使えなかった頃の
自分や

今まで
過ごしてきた生活は
全部ニセモノ
だったのかなって…

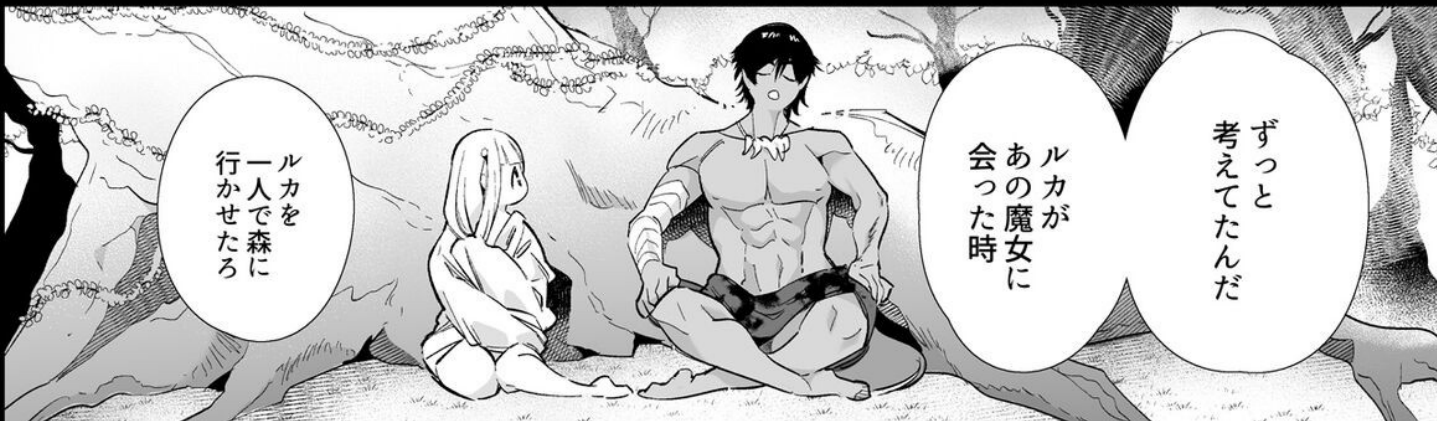


わっ

なーに
悩んでんだ
そんなことで




悪魔だって
なんだって
ルカはルカだろ




ずっと
考えてたんだ

ルカが
あの魔女に
会った時

ルカを
一人で森に
行かせたる



ルカの事は
任せるなんてグレンに
大口叩いておいて
この様だ



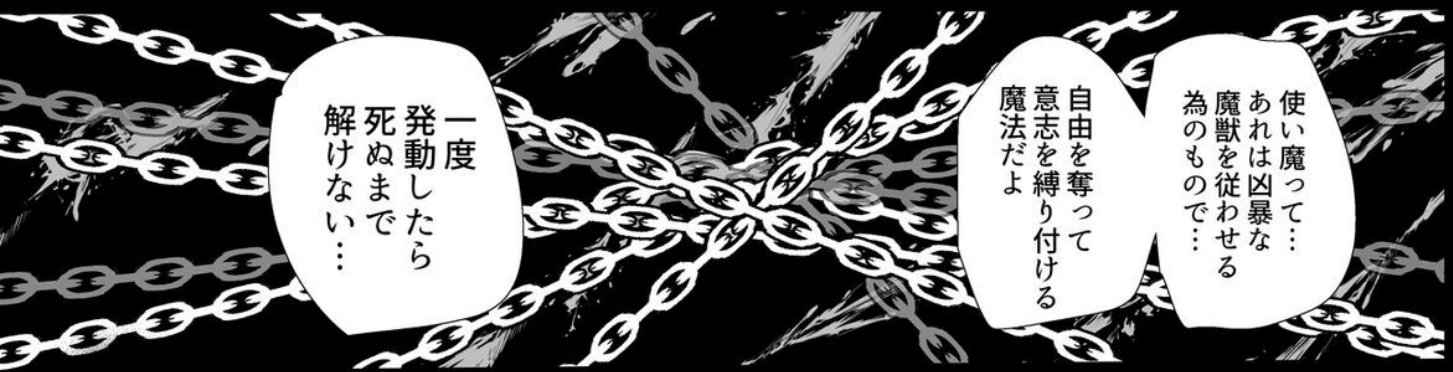
もう一人にして
危険な目に
遭わせるなんて
したくない



オレを
ルカの使い魔に
してくれ

そうすれば
いつでもな時でも
すぐ駆けつけ
られるだろ

今の
ルカなら
出来るよな？



使い魔って…
あれは凶暴な
魔獣を従わせる
為のもので…

自由を奪って
意志を縛り付ける
魔法だよ

一度
発動したら
死ぬまで
解けない…




せっかく
怪我也治って
どこにだって行ける
ようになったのに


そんな魔法
使ったらずっと
私から離れられなく
なっちゃうよ

はは、
そりゃいいや

逆に
都合じゃ
ねえか




これからずっと
お前の傍を
離れるつもりなんて
ないんだから



頼むルカ

もう
あの時みたいなの
後悔したくねえ



オレの命は
お前の為に
使うって
決めてるんだ

お前が
オレを助けた
あの時から



オレを

お前の
モノにしてくれ



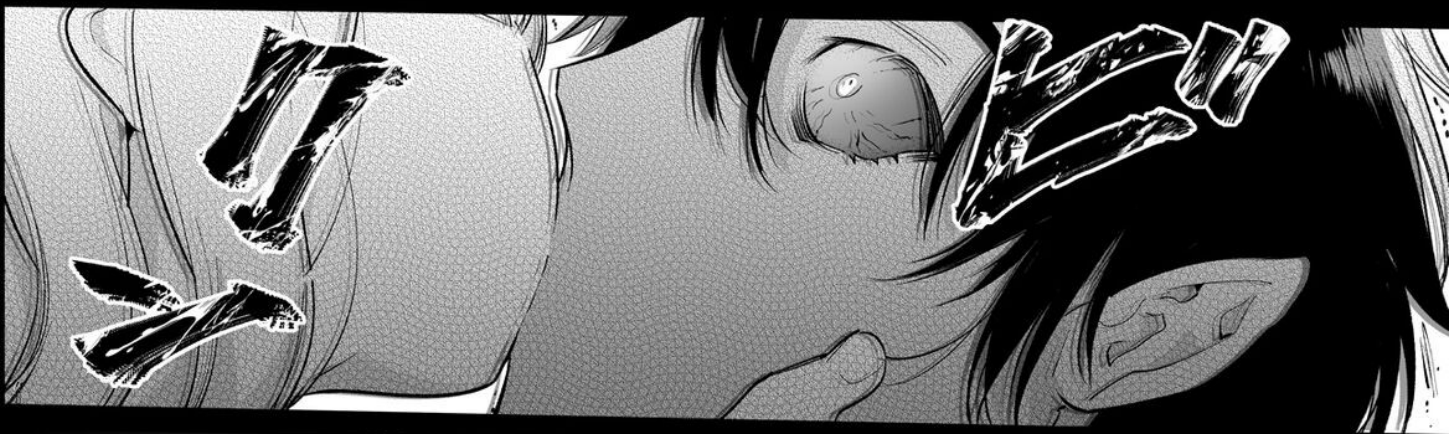
血も骨も

身も心も
全て
差し出せ

その瞳に
映すのは



私だけ





ア

キュン

大丈夫

身体は
どうともねえよ

いや—
違うな



しっか...
しっかり



ア

ルカの
声も匂いも
体温も

今までと
比べ物にならねえ程
オレのナカにまで
伝わってくる

喰らい尽くしたく
なるくらい美味そうに
見えるぜ



あッ

アバ、待つ

こんな
ところでだめ

早く帰らなきや
グレン兄ちゃんが
心配



この匂い

あの
黒い魔女の匂いだ

グレンと
一緒にいる





グ
...

グレン兄ちゃん!?



この人は

また
会えましたね
お嬢さん

いえ…
リエールカ



誰より強い
グレン兄ちゃんの
動きを封じるなんて

何者…？

彼から
襲い掛かって
きたのです

正当防衛
ですよ



お母さんの
友達なのに

私の
家族にひどい事
しないで下さい

こら
ルカ

やめて下さいー！

ばっ



本当に
よく似ている

グレン
兄ちゃんを
離し



まるで
ルナを見て
いるかの様

勇敢で気高く：
優しいのですね



——結局

お前
敵なのか？
味方なのか？

ルカを
危険な目に
あわせたかと
思えば

ルカの母親と
親しかったとか
どうか？

もちろん
味方に
決まっている

危険な目に
遭わせたなど
心外ですね

私は彼女を
本来の姿に
戻しただけ

しかし
事態は予想して
いたよりも急を
要するのです

発作が起こる度
悪魔の力は
強くなっている

悪魔の血に
身も心も
支配されて
しまうのです

その悪魔の力を
制する魔力を
手に入れなければ

私と上級魔女の
修行をしましょう
リエールカ

王都の
外れに在る
「魔女の城」へ
移りなさい

其処は
かつて数多くの
上級魔女や魔術師が
集い知識や技能が
結集した地

今は
使われておらず
ある御方の住居と
なっていますが

過去私やルナも
その地で魔法の技を
磨き上げていました

可愛い
リエールカ

私の望み
それは――

貴女を
ルナの様な
素晴らしい魔女に
育てあげること

上級魔女並みの
魔力を
手に入れる…

その修行を
これからこの
お城で…

こんにちは
広いお部屋
もちって
いいのかな

一度に色んな事が
起こって少し
疲れたかも

それに…
さつき会った
ザガン様

あの様子だと
仲良くするのは
難しそうだな

それに――

グレン兄ちゃんと
なんだかぎこちない…

どうした？
ルカ

慣れない
長旅で
疲れたか？

アバルっ!?

使い魔に
なった影響
なんだろうな

うまく
言えねえけど
伝わってきたんだよ

ルカの
感じてる事…



体調は
大丈夫

使い魔って
そんなことまで
伝わるんだ!?

ただ：
グレン兄ちゃんと
話せてないなって



「さみしい」って
気持ちみたいなのが



それに加えて
怪我までさせて

もういい加減
愛想尽きて
嫌われちゃったの
かなって…

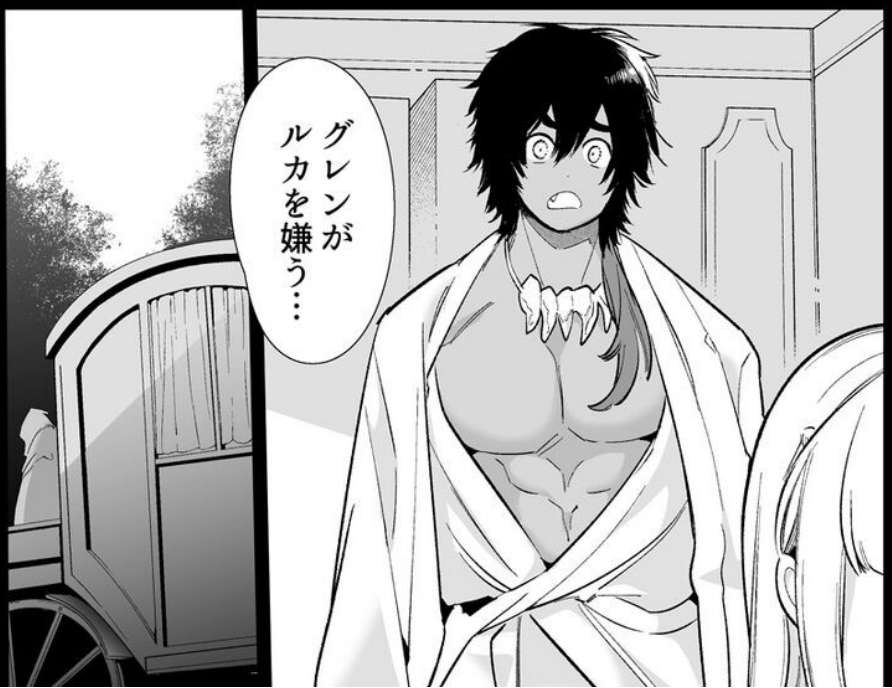


私
ただでさえずっと
グレン兄ちゃんには
迷惑かけてるのに

私が
悪魔だったことで
もっと心配かけて



それが
本当なら



グレンが
ルカを嫌う…



あんな
大事な宝物
見つめる様な表情カオ



しねえと
思うんだけどな…



。。
オシの
存在完全に
消してやるだろ
コイツ…



だから
さみしい気持ちも
あるけど

しばらくは
距離をとった方が
いいのかなって

…アバル
どうかした？



…まあ

わざわざ
グレンの肩
持ってやること
ねえか

?



まあ
グレンも
色々考えが
あるんだろ

ルカに
心配かけたくなくて
あえて距離とってる
のかもな

それにルカは
もつと自分の気持ちを
楽にすること
考えた方がいいぜ



だから

今は
オレのこと
考えてるよ

ちゅ

んっ…

長旅の疲れ
癒してやるからさ

ぽっ



癒すって…

わ

使い魔の
契約の時から
二人きりに
なれなかつたろ？

ここに
来るまでだって
グレンがずっと
一緒だったし

グ



いくら魔力が必要だったってルカを
独り占めできねえのは
辛かったよ

ずっと我慢
してたんだぜ？

ご馳走目の前にして
オアズケくらってる
気分だったんだ



ジュウ

ジュウ



やっと
自分にルカの
身体を味わえる

もう
こんなに
濡れて...

ず...
♡

今は
余計な事全部
忘れちまえよ

オレと
気持ちよくなる
事だけ考えてな

なア、
ルカ…

お前が
気に病む事なんて
何もないんだぜ？

迷惑かけてる
なんてルカはよく
言ってるけど—

好きな女を抱いて
それが人助けに
なるってんだ

オレは
むしろ
大歓迎



ルカのナカ

どろどろ
ドロドロに
ほぐれてる...

早く
挿れて欲しいって
いつてるみてえだな

ナカは
たまらなく
気持ちいいん
だろうな
挿れちまい
たいけど...



一度抜いて
おいた方が
いいか

ギョッ

キッ



飲んでくれよ
ルカ...

はぁ

はぁ

ブル
ブル
ブル



ハハハハハハ

ド

ポ

ニヤニヤ

こっちの方がいいんだよな？

だだだだだだ

ハハハハハハ



ハハハハハハ

ははッ
なんだ？ すごい
締めてんな

キシ

ゴシ

ゴシ

ゴシ

ゴシ

まだ
挿れた
だけだぜ？

ゴシ



こんなので
イキそうになって
カワイイな

でもまだ
我慢しなルカ

ハハハハハハ

ハハハハハハ

ハハハハハハ

ハハハハハハ



なら
もう止めるか?

え...

しゃあ...♡

嫌?
こんなに
濡らしておいて



ハハ、
安心しろって

あ!
あ!
あ!

こんな
気持ちいい
交尾...

あ!
やめられる
ワケねえだろ?

あッ!



な?
理性なんて
捨てちまえ

獣みてえに
鳴いてみせて
くれよ

ほら
ルカ

ほら!
ほら!

あッ!



ハア...

まだ
いけそうだな

もうちよつと
付き合ってくれよ
ルカ

ルカもまだ
欲しいよな...

きや

元々
熱く滑って
締めりも
よかったけど

これも
使い魔の契約の
影響か？

膣のナカ：
オレをどんだん
奥まで呑み込んで

キ...

...

もとはひとつの
生き物だった
みてえに馴染んでる

こんな
気持ちいい交尾
出来るなんて

ッ：は
締めすぎだ
ルカ

ルカの膣の中で
オレのが
溶けちまう...

なあ：
気持ちいいな？
オレもー

もうルカの
ナカでしか
イけねえよ...

これだけでも
使い魔になった
甲斐がある
かも、なッ



…ハア

なあルカ

アキ

ホントは
誰にも触らせたく
ないんだ

アキ

アキ

トク

キ

キ

ドク

アキ

アキ

トク

いつか
オレでしか満足
できねえカラダに
してやるからな…?

アキ

アキ

ハ

アキ

アキ

アキ

アキ

アキ

アキ

アキ



無条件で
私のために
身体を張って
助けてくれる

アバルも
グレン兄ちゃんも



このまま
守ってもらってる
だけじゃだめだ

優しいふたりに
このまま頼り切り
なんて



レティシアさんは
修行の為の準備が
あるからあとから
合流するって
言ってたけど

それまでの間
ひとりでの魔法の
特訓をするのは…
少し怖いな

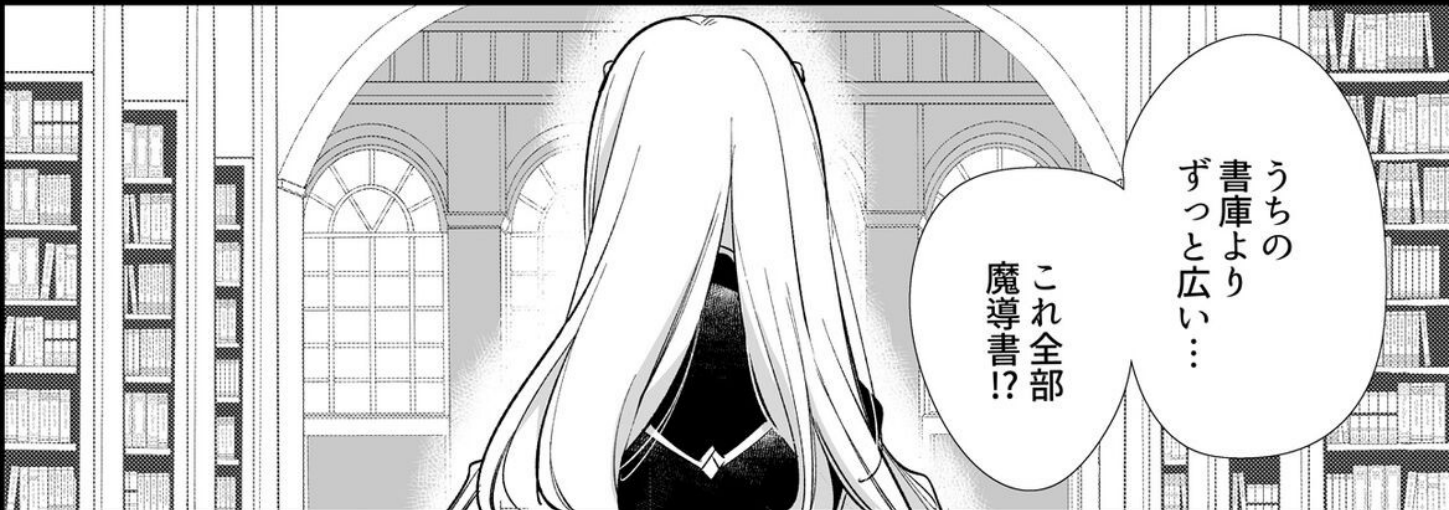


今自分に
出来る事を
しよう



他に出来ることは

わ…



うちの
書庫より
ずっと広い…

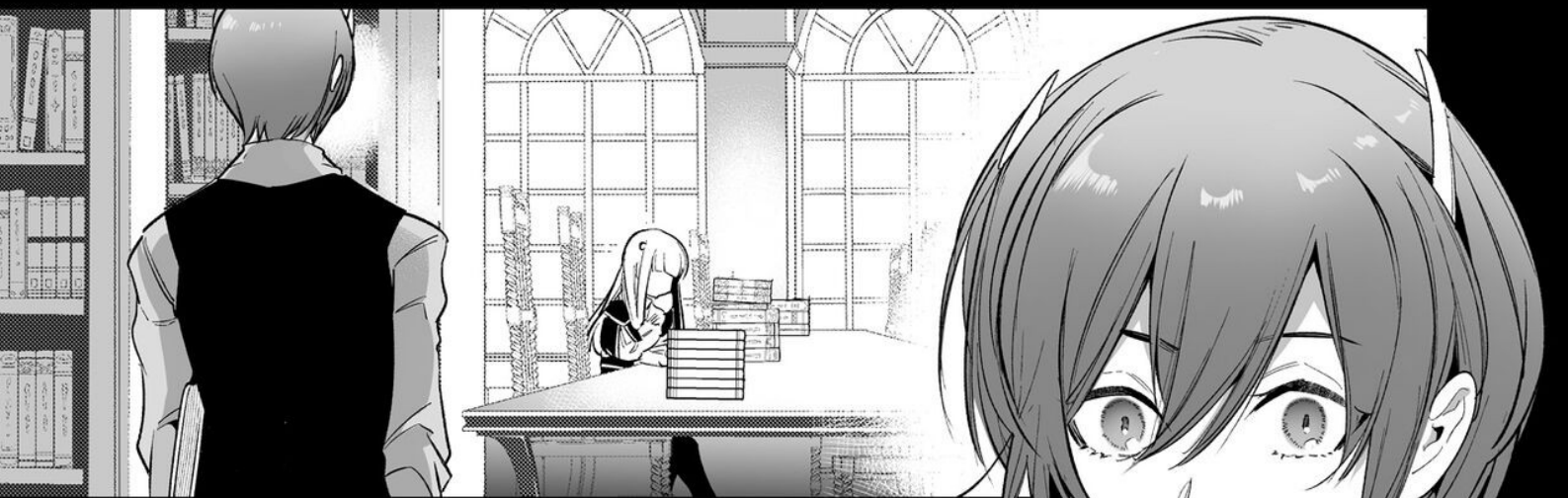
これ全部
魔導書!?

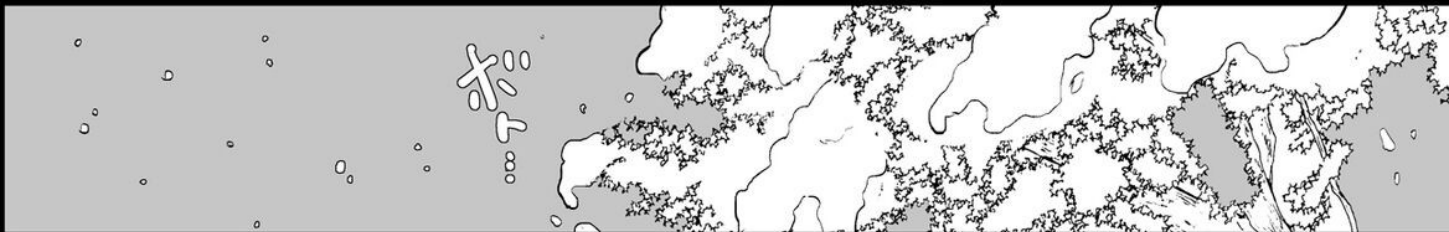


これ…
読んでみたいと
思ってたんだ

こっちは
見た事ない
魔法が載ってる

いろんな
魔女や魔術師の
人達がここで
勉強してたんだ







ザガン様!?

五月蠅い

夢中になって
いる間は
大人しかったのに
やはり
騒々しいところは
よく似ているな

え?



先日
此処に着いた時も
ルナの娘がどんなものか
気になっていたが

見た目は
そこまで
似ていな



流石は
ルナの娘と
いったところか



お母さんと話した事あるんですか!?

そういえばお母さんがここで修行してたって…



お母さんや魔女の人たちのお話聞きたいです

私もっと魔女や魔法の勉強をしたいと思っ—

ザガン様の母様がお母さんの先生だったりするんでしょうか

おい…



ルナは一時期僕の世話役で

それってお母さんと一緒に過ごしたって事!?

そうだザガン様の母様がこの魔女の城で魔女育成に力を入れていたとか



はしたない

顔を近付けすぎだ



もっと仲良く
なれたらいいなあ…

…なんだ？

…今まで
嗅いだ事の無い

甘い香り…

魔法をうまく扱えないルカを見兼ねて共に魔法の勉強、修行を始めるザガン。



共に過ごすうち心を通わせる二人だったが



ルカの精神は想像以上の早さで悪魔の人格に侵されていた

あとがきのよなモ!

手に取って頂きありがとうございます。山本ともみつです。
メデリトルロイ共通溺愛ルート続編ということで、1作目を手に取って下さった皆様の温かい応援もあって無事発行に至りました。本当にありがとうございます。
とはいっても、上巻です。下巻は現在ガンガンすすめております
上下巻と分冊するに至った理由は、内容が膨らみすぎて100ページに収まらなかったことが原因です。
前作で100ページくらいになりそうで〜すエへへみたいなのをあとがきで表記していたんですが100ページ前後ならまだしもそこから更にどどんにページ数が膨らんでいき自身の基準で2冊分のページ数に到達したところで分けて発行するに至りました。とまらない!メデリトルロイ!

前作でレビューやSNSに攻略対象誰推しか教えて頂けますか?と呼びかけをさせて頂きましたところありがたいことに多くのご意見を頂戴しまして、

現段階では

1位 グレン 2位 ザガン 3位 アバル

という投票結果に至っております。あと黒魔女と隠し攻略キャラのご意見も多く寄せて頂きありがとうございます! 僭越ながらTwitter、pixiv、Dlsiteレビュー、またメールフォームや出版社に感想と併せて送っていただいたメール、ファンレターのご意見も全て集計させて頂きました。
あと複数人のリアル友達にも「ザガンかな…」といきなり意見をもらったり(なぜか全員ザガン推しだった)

実は2作目以降もともと既存のストーリーがあったのですがアンケートをもとに

- ルカとのえっちシーンページ数
- 登場シーン、ルカとの交流シーン順番構成
- 登場ページ数

などなど構成を複数変更しました。

つまりは皆様から頂いた意見を組み込んだうえでの共通溺愛ルートをお送りする形になっております。お付き合い頂き本当に感謝しております!
そしてあわよくば1巻から引き続き2巻でも是非推しや推しカプのご意見を頂ければと思います。3巻もそのご意見を反映させたいなどと考えています!

ただもともと描く予定だったルカのメイド服やザガンのバチバチ嫉妬などどうしても収まらなかったシーンもあったりで、これはもう個別ルート描くしかないか…?という心持ちではあるのですが今後の執筆状況や反響次第で個別ルートはお届け出来たらいいな…という考えでいます。

分冊したことで上巻ではザガンの出番が少なめになってしまいザガンはよのメッセージを頂いた皆様には申し訳ない気持ちなのですが予告にもあるとおり下巻はザガンとのえちが多めにあるのと、おそらく近いうちにお届け出来るのではないかと制作に励んでおりますのでもう少しお待ちください。

では上巻、お付き合いいただきありがとうございました!

それと今作からメデリトルロイの素敵なタイトルロゴを友人の間あくあ先生に制作頂きました!
そしてサムネデザインもお願いしました!感謝…!!

(次ページからTwitterや支援サイトで更新したおまけイラストをお届けします)



ネカ対面の相手にも
きちんと礼儀正しく
あいさつちゃんとして出来て
なんて素晴らしいんだ…
というまなざしを
ルカに向ける グレン兄ちゃん



ルカのおかげで
好きなだけ
かき混ぜられる
様になったな

気持ちいいか？
ルカ…

あの
2人より

オレの指が
一番長くて
硬くて太くて
奥まで
届くだろ？



まーまー
仲良く
しようぜ
王子様

オレ達3人
もうウチの
じゃねえか

ぼし…
気安く触るな
無礼者！

しかもきよ、
兄弟などと
馴れ馴れしいミ

ところで
チヤキモウガイ
とはどういう
意味なんだ

わかるように
説明しろ！

↑
落早でもない

×デ・メル・イ #1
5000DL
70000DL
本がどう
こころは
山



無表情

グレンって
普段全然
表情変わん
ねえよなあ

一緒に
暮らしてて
つまらなく
ねえか？ルカ

とれか
なんでもか
しか
知んねー

表情が
変わらない…

ス…

グレン
兄ちゃんか？



そんなこと
ないけど
思うけど

いつも
ニコニコ
笑ってるよ

ホント
だよ

ニ
ニコ
ニコ

いつも
ニコニコ
っ…

当夜

全く想像
けつかな
え



うわ…

すげー
ニ
ニコ
ニコ
っ…







共通溺愛ルート

魔法の使えないルカは最強の悪魔の娘だと発覚する。兄のグレン、魔獣のアバル、王子のザガン3人から朝昼晩と精液を注がれ生きること。悪魔の血の支配を抑える為新たな拠点「魔女の城で」魔法の勉強、修行を行い力をつけていくルカ。3人の男性達はルカと共に時間を過ごしていくうち身も心もルカに惹かれていく。しかしルカの意識は密かに悪魔の人格に乗っ取られて…



ルート分岐一覧



グレン・純愛ルート

3人の精液を注がれ続けたルカだが次第にグレンの精液しか受け付けなくなる。何度も何度も優しく抱かれるうち小さい頃から兄として、ただ一人の家族としてしか意識していなかったグレンに恋心を抱くようになるルカ。片やグレンも妹として接してはいたがルカをずっと前から女性として愛していた。両片思いの2人の行く末は…

グレン・監禁ルート

グレンの精液しか受け付けなくなったルカは肉欲に抗えずグレンを求め続け、ルカを愛するグレンはその欲望に答え続ける。身体を貪り合い続ける2人。淫欲に溺れたルカは完全体の悪魔になってしまう。愛しいルカを自分から引き離そうとするアバルとザガンを敵視するようになり、ルカを連れ2人で最果ての地へ駆け落ちする。誰の目にも触れさせない、誰にも会わせない。グレンはルカを閉じ込め食事も服を着替える事も自分で行うことを許さなくなり…



アバル・純愛ルート

3人の精液を注がれ続けたルカだが次第にアバルの精液しか受け付けなくなる。今までアバルとは友人として、家族として接していたがアバルの熱烈な求愛、激しい性行にアバル無しではいられなくなる程身も心も染められていく。アバルの願いはルカが「魔女」になることではなく自身の「妻」となって子供、家族を作る事だと告げられるが…

アバル・雌犬ルート

アバルの精液しか受け付けなくなったルカは肉欲に抗えずアバルを求め続け、ルカの求めるがままに精液を注ぐアバル。身体を貪り合い続ける2人。次第にルカは完全体の悪魔になってしまう。激しい性交によって魔獣の本性が蘇ったアバルはグレン・ザガンに無断でルカを森の奥へ連れ込み子供を生ませるためルカ朝から晩まで犯し続ける。使い魔であるはずのアバルに逆らえなくなったルカはメスとしてオスのアバルに服従し、日夜獣のような性交を繰り返す…



ザガン・純愛ルート

3人の精液を注がれ続けたルカだが次第にザガンの精液しか受け付けなくなる。出会った当初はザガンから拒絶されていたルカだが魔法の修行や勉強、共に過ごしていくうち心を通わせる。そして今まで誰からも愛されず関心を持たれなかったザガンは初めて自身を受け入れてくれたルカに依存するようになる。そしてザガンの呪いが発覚し…

ザガン・寵愛ルート

ザガンの精液しか受け付けなくなったルカは肉欲に抗えずザガンを求め続け、また片思いしているルカに求められ悦ぶザガン。身体を貪り合い続ける2人。淫欲に溺れたルカは完全体の悪魔になってしまう。ルカと性交することによって悪魔の力を手に入れたザガンは本来の力を取り戻し、新魔王となった。城の奥へ閉じ込められ、日夜寵愛を受けるルカ。彼の傍らには悪魔がいると噂され…

共通肉欲淫愛ルート

3人から精液を注がれ続け身体を貪り合い続け、淫欲に溺れてしまったルカは完全体の悪魔になってしまう。強大な魔力でグレン、アバル、ザガンの3人を屈服させ犯し続けるようになるルカ。3人もまた愛するルカから与えられつづける快感に溺れていく…

黒魔女ルート

ザガンの城で3人から精液を注がれ続けるルカ。魔力が強くなり黒魔女に魔術を習うようになる。彼女がルカに執着するのは、母であるルナの姿を重ねていたからで…

???ルート

3人のおかげで魔力が安定してきたルカ。ある日不思議な青年がルカを訪ねてくる。彼からは強大な魔力が放たれていた。彼はある一言をルカに告げた。「姉さん」と――



ここまでお付き合いいただきありがとうございました！
前ページのあとがきにも載せましたが

◆DLsiteレビュー

◆Twitter : @Yatomomin

◆pixiv : ID=9182871(メデリトルロイ関連の作品のコメント欄など)

上記のいずれかにご感想または

「●●とのルートが見たい」

「●●エンディングが気になる」

などご意見頂いたらそれらを1巻と同じく再度全て集計させて頂き、
続編のストーリー構成に反映させる企画を考えています。

現段階では3巻で共通溺愛ルートは完結予定です。

メデリトルロイのシリーズもとりあえずいったん落ち着かせる予定ですが、
前ページにあるようにルート分岐はまだあります。

ルナと悪魔の出会い、ルナとレティシアの過去、グレンの出生、グレンとルカの過去、
アバルとルカの出会い、ザガンの「落ちこぼれ」の原因、ザガンの母と魔王の過去、
ルナは何故消えたのか？ 生きているのか？

これらのストーリーは一応既に用意しているんですが…

まだまだメデリトルロイを見たい！というお声を多く頂くことが
できたら時間をかけてこの世界をもっと皆様にお届けして
いきたいと思えます。本当はずっとメデリトルロイを描いていたい
気持ちもあるのですがメデリトルロイの他にも描きたい
シリーズがめちゃくちゃめっちゃ溜まっているので…

お気に召しましたら是非メデリトルロイを
よろしく願いいたします。

ではまた続刊で！

よまわ





MELTLE RY

メテリトルロイ

落ちこぼれ魔女の正体は精液(魔力)を糧とする最強の悪魔でした。

サークル：Yatomomin

作画：山本ともみつ

◆電子発行日：2022/3/21

◆mail：hrm3421ymmt@yahoo.co.jp

◆Twitter：@Yatomomin

・無断転載・複製・複写・インターネット上への掲載(SNS)は禁止です
・この作品の著作権は(Yatomomin/山本ともみつ)にあり、この作品を許可なくインターネット上にアップロードした場合(著作権法23条)10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方が同時に科せられます(著作権法第119条第1項)。発見した場合は法的措置をとります。

Unauthorized copying and replication of the contents of this site, text and images are strictly prohibited.